

創立20周年記念事業報告

会長 佐藤 久男

今年の4月で創立20周年を迎えた当クラブでは幾つかの記念事業を行った。

【ディスクグラフィイ刊行】

高橋敏郎会員によるモーツァルトの三大オペラ、フイガロ、ドンジョヴァンニ、魔笛のディスクグラフィイ刊行。ベートーベンの交響曲第5番(運命)、パッサハのマトイ受難曲に引き続き全395種140頁を網羅した力作である。

【SP盤復刻CD完成】

アメリカカポピュラーミュージックSP盤の復刻CD二枚組の完成。この復刻CDは企画、原盤提供、リマスタリング、パッケージデザインを全てをA AFC会員の手により作成。音楽全般に造詣の深い音楽評論家瀬川昌久先生の貴重な解説付きで、購入された方々からは大好評を得ています。

【記念祝賀会】

4月15日(水) ナプシヤルズ南柏で会員、元会員、一般の方の他、来賓の我孫子市長、音楽評論家瀬川昌久先生など75名が集い、創立記念祝賀会を開催した。

会場には写真、パンフレット、復刻CD、資料などをパネルで表示し、来場された方々に会の活動を知っていただいた。立食パーティー形式で、三々五々会員、来賓が交歓し素晴らしいパーティーとなった。

会場の横断幕、立て看板、パンフレットなどすべて会員の自作で、手慣れた運営は流石A AFCと来賓からも褒めめ言葉の言葉を頂戴した。

仏滅のため会場はA AFCだけとなり、貸し切り状態だったのも幸いした。

【BELLE Z 演奏会】

吹奏楽では名門の市立柏高等学校のOB、OGからなるBELLE Zの演奏会を9月12日(土)我孫子駅前前のかや

きプラザ2階、ふれあいホールで開催した。近隣のミニコミ紙、朝日新聞、市の広報などの広告を見た市民からの電話の問い合わせが殺到。今までのコンサートではなかった現象でBELLE Zの評判の大きさを実感した。

会場の設定、受付など関係者は早くから集合し、横断幕を舞台上に取り付けたり、音響装置の調整など準備に専念した。

開場1時間前の12時頃から、手渡された資料の袋を持ち聴衆が並び始めた。階段には消防法上並べないで、開場を15分早め入場していただいた。

満員になるかどうか一抹の不安があったが、集まりは早く551名の客席は早くも満席となり、遅れて来られた約50名の方々は残念ながらお断りせざるを得なくなった。ジャズの名曲から映画音楽、TVアニメなど耳慣れた曲が素晴らしい迫力で演奏され、満員の聴衆も盛大な拍手でこれに

応え盛り上がった。アンケート回収率は70%を超え、再演を希望する声が多かった。会員各位の協力のもと、記念すべき事業もすべて大好評裡に無事終了できた。心から厚く御礼申し上げます。

【オーディオと私】



古田部 信

A AFCのHPを拝見し、4月から皆様の仲間に入れていただきましたので自己紹介を兼ねて書かせていただきました。出身は筑波山の麓で、現在は守谷近郊の、つくばみらい市絹の台に住んでいます。

私がオーディオを初めて意識したのは、中2の夏でした。鬼怒川の叔母の家に遊びに行きコンソールタイプのステレオで(一体型で足が4本付)レコードをかけた時、流れてきた音楽に、おもうわず感激してしまいました。それまで音楽を聴くといえは、ラジオかテレビくらいしかなかったもので、そのHi-Fiサウンドにびびくりしたと同時に、憧れを抱いたのを憶えています。それから随分長いこと、オーディオを趣味としていろいろとやってきました。

私のオーディオファンとしてのモットーは、大好きな音楽をベストサウンドで、というところでしょうか。好きな音楽といっても、特に決まったジャンルはありません。どちらかというと、軽く、広くといった感じです。シンブルで、わかり易く肩のこらないものが好みます。

最近では、うるさくないピアノトリオ、女性ボーカル、ラテン、それと昭和30年頃の歌謡曲のモノラル盤に、魅力を感じています。

神保町と水道橋あたりには、古いレコード、CDを専門に揃えている店があります。また、安くて美味しい店もあるので、休日はよくその辺をうろろろしています。

現在の私のオーディオシステムは、1970年後半から80年前半に揃えたものがほとんどです。修理メンテナンスは、随時、メーカーにお願いしています。メンバー変更は特にしていません。今までやってきて、自分なりに感じていることがあります。それは、信頼できるメーカーのあるレベル以上の製品は、私達が、想っている以上の性能を持つているということ。しかし、その性能を十分に発揮させるのは至難のワザだということです。

レータ等)電源関係(オーディオ専用回路、コンセント)各ケーブルの選定(純銀線、PCCO等)以上です。

今後は、一番厄介な室内音響をやろうと思っています。よく言われることですが、オーディオで最も大きなポイントは最終的に、部屋と、音楽ソースだと思っています。

それと、オーディオをやっているつも感じるのは、音に対する感覚や嗜好は個人差がかなりあるということ。同じ音楽、サウンドを聴いていても、意見が異なることがしばしばです。

聴覚と味覚は、人間の感覚システムの見ると、共通点が多いと思つていますが、音に対する言葉の表現は抽象的で、しやうゆ、塩、とんこつ、あつさり、こつてり、太麺、細麺、かため、やわらかめ、どちらがお好みですか? というようなところでしょうか。結局のところ、ベストサウンドということも、自分が好きなサウンドということになるのではないのでしょうか。

これから、音楽、オーディオを通じて、皆様と、いろいろなことを楽しく語りあえたら最高だと思います。また皆様のオーディオシステムでいろいろな音楽を聴かせていただきたいと思いますので、気軽に声をかけてもらいたいと思います。よろしくお願いたします。



MYSYSTEM

- Ortofon MC20 MK II
- SAEC WE-308SX
- entre ET-200
- YAMAHA CDX-2000
- Audio of Oregon BT-2
- LUXMAN 5M20
- TANNOY MANSFIELD (15)